

# 【どうすれば福井県内の小学校で ALTと児童の交流を増やすことができるか】

福井県立武生高等学校 山本和奏 河野光希 小山澄馬 馬上免瑞季

2020年度からの小学校英語教育の必修化に伴い英語嫌いの小学生が増えている。私達は学問的な正しさを求める授業が英語嫌いの要因と分析し、ALT(外国語指導助手)との交流が英語への親しみを促進すると考えた。福井は児童数あたりのALTの数が日本一だが、児童との交流機会は他県と比べ不足している。そこで、県内の小学校の協力を得て、児童が気軽にALTと交流できる「ALTスタンプラリー」という企画を実施し、実施前後で行ったアンケートの結果からALTと児童の交流、英語に対する児童の意識に効果が見られたかを分析した。

中学生レベル  
学問的な正しさを求められるから

## 背景

英語嫌いの小学生の増加  
⇒小3→小6で英語好きが **16%pt減**

## 英語好きの小学生を増やしたい !!

学問的な正しさにとらわれないよう、  
英語の楽しみを知ってもらおう！

## 現状調査

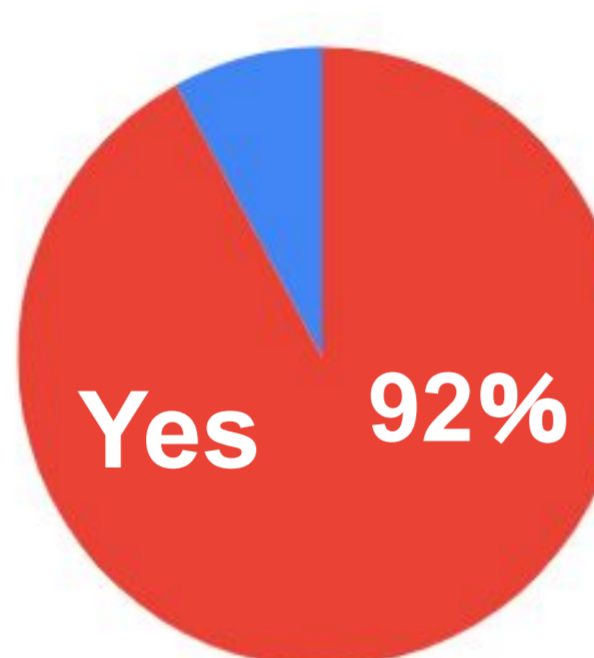
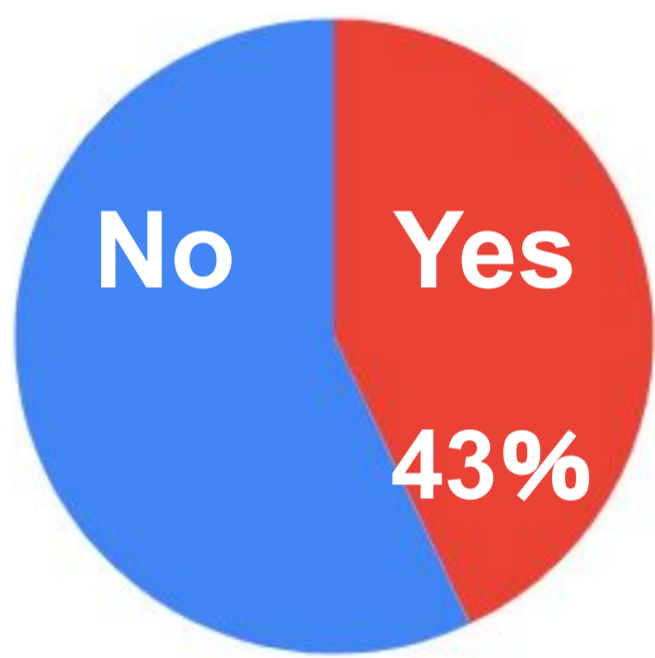
生徒あたりの  
ALTの数が日本一

授業外活動への  
ALT参画率が低い

休み時間に  
ALTと  
全く話さない児童  
**33%**

### 《アンケート》

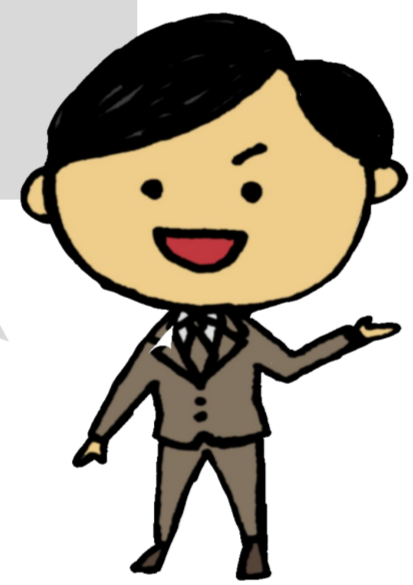
「英語は得意か」「ALTとの会話は楽しいか」



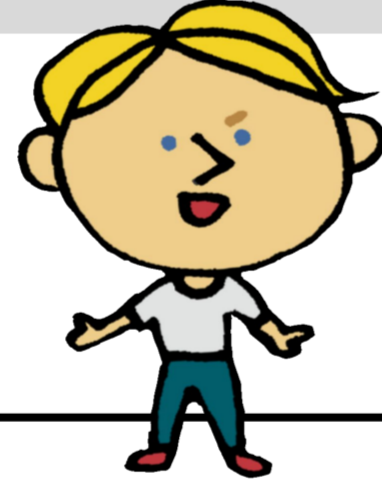
英語が苦手でも  
交流は楽しい!!

### 《インタビュー》

【日本人教師】  
・ALTと児童を繋ぎたい  
・時間がない



【ALT】  
・仲良くなりたい  
・児童から来て欲しい



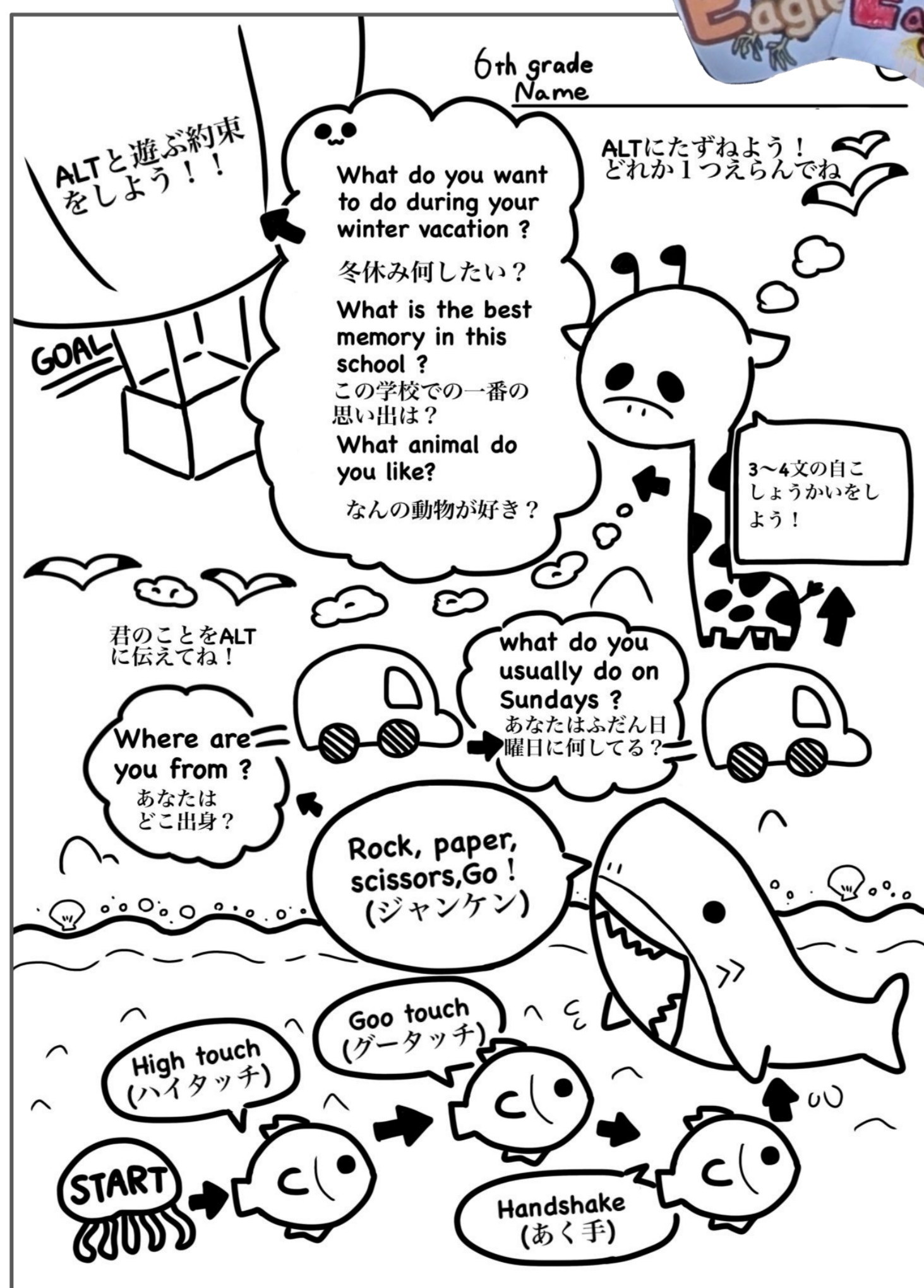
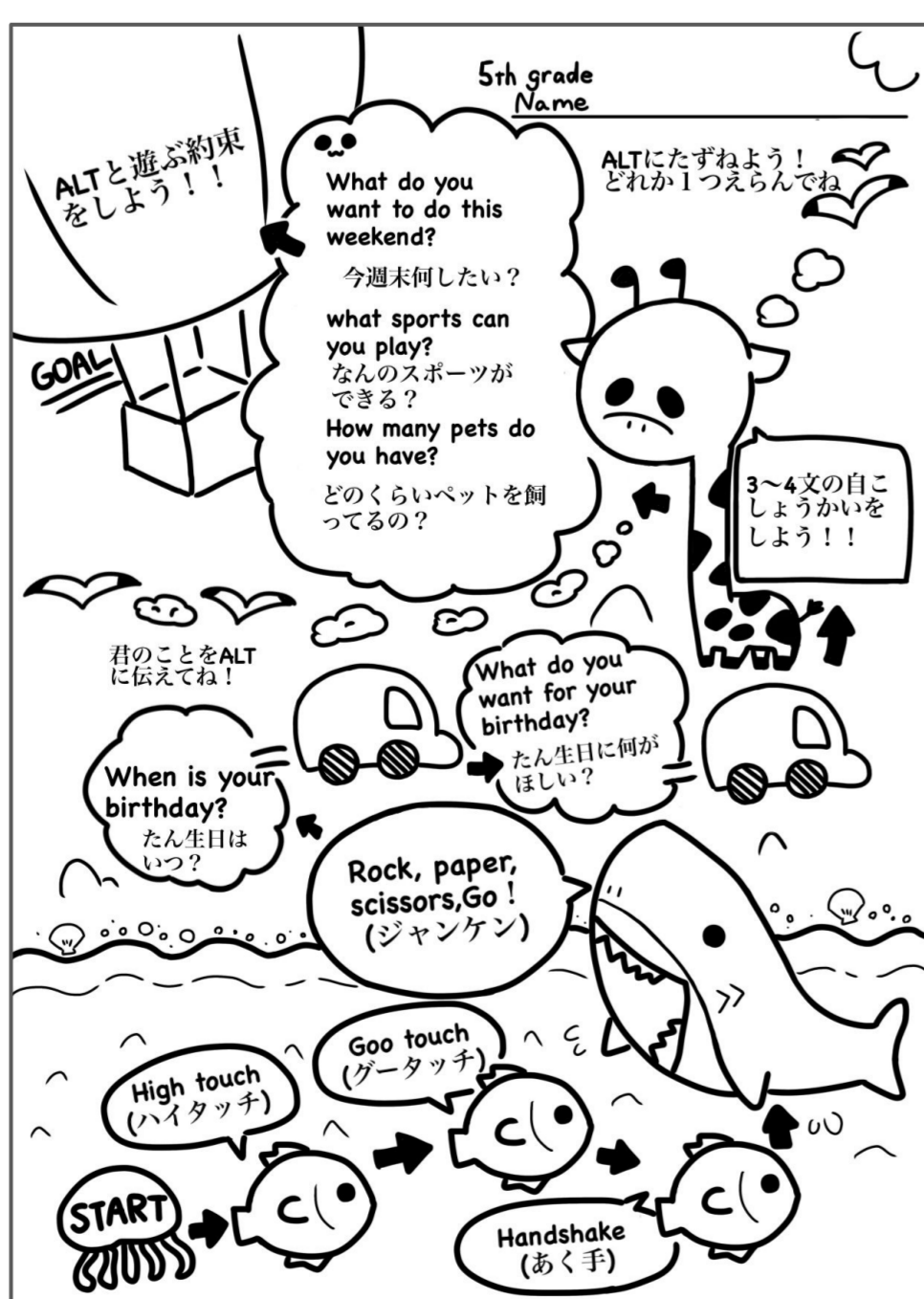
みんなが、ALTのもとへ自分から行けるように  
きっかけを作ろう！

## ALTスタンプラリー

(対象)  
小学5、6年生

正しい英語でなくてもOK  
関わりに行けば合格！

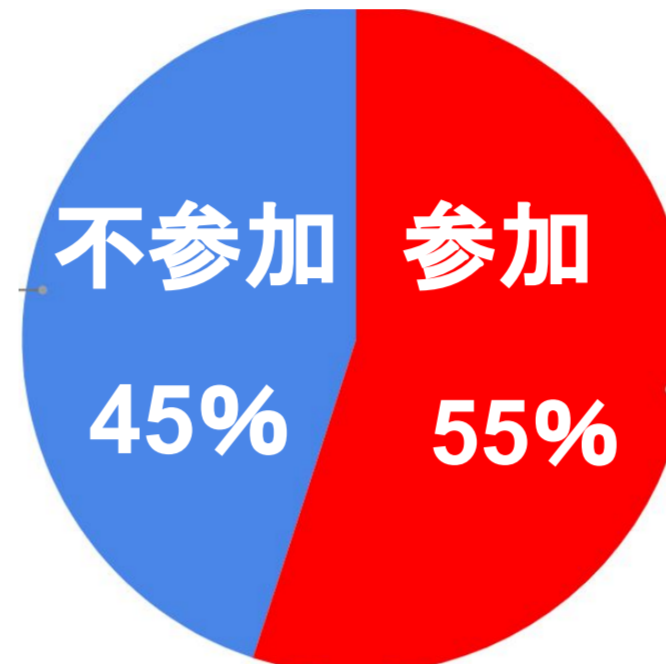
(内容)  
海=Lv.1 非言語交流  
陸=Lv.2 自己紹介  
空=Lv.3 ALTに質問



## 結果

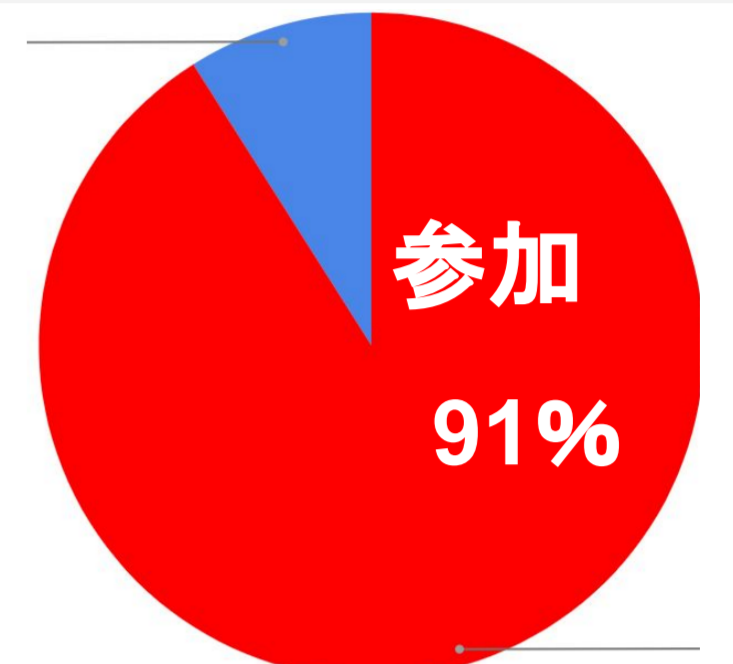
### A小学校

小学5、6年生(199人)  
11月28日~12月12日  
(毎週木曜日):3回



### B小学校

小学5、6年生(92人)  
1月17日~1月31日  
(毎週金曜日):3回



参加率  
**36%pt 増**

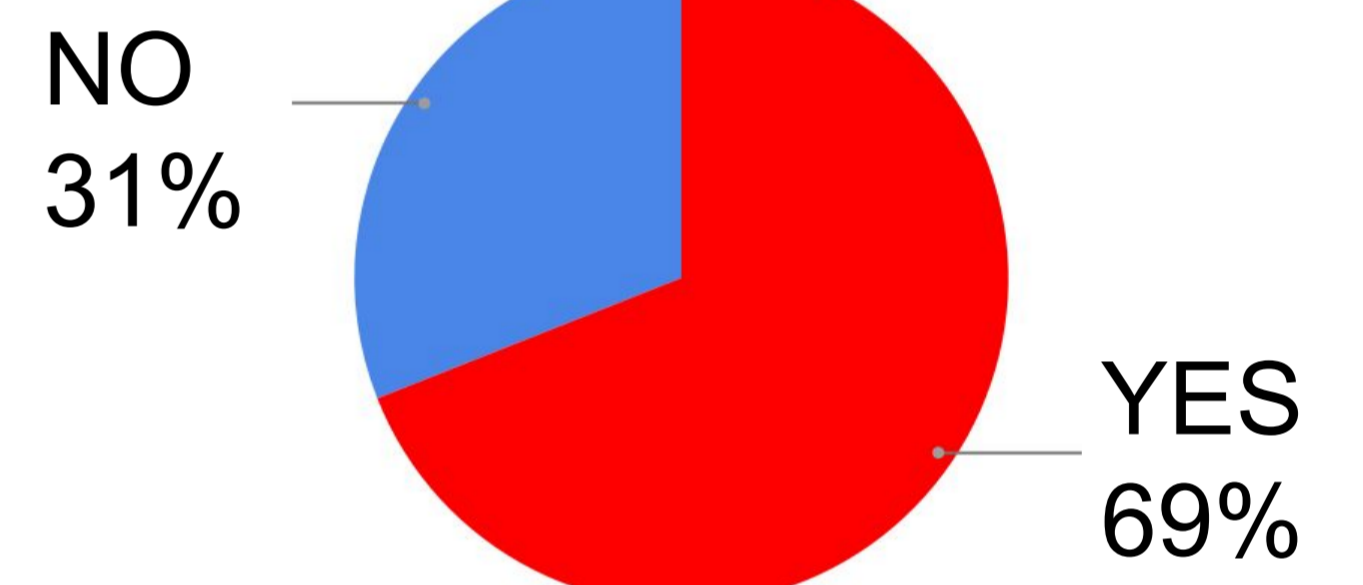
✓景品が好評だった → Lv.1から景品を渡す  
✓児童が忙がしすぎた → 忙しい時期を避ける

### 《アンケート》

ALTと話すのに不安を感じるか

**77人** 実施前 → **60人** 実施後  
17人減

これからもALTに声をかけたいか



### 《インタビュー》

【ALT】  
授業も活発になった！

【日本人教師】  
児童が自発的に行ってくれた！

## 考察・今後の課題

### 《考察》

義務教育の小学校の中で授業の効果を高めるためには、楽しみながら英語を学ぶことが欠かせない。ALTスタンプラリーは、ALTと話すことに不安を感じる生徒が減り、児童が授業に積極的になった点でいい影響を及ぼしたといえる。よってALTスタンプラリーによって児童とALTの交流のきっかけを作れば、児童はALTとの交流を通して楽しみながら英語に親しむことができ、苦手意識の解消、学習意欲の向上につながると考える。

### 《課題》

ALTスタンプラリーを実施してから期間が経ってもALTと小学生の交流が続いているのかという長期的な効果を検証したい。また、この企画をより多くの小学校に拡大するために景品や紙をより効率的に準備する方法を検討する必要がある。

## 結論

福井県の強みであるALTの多さを生かすには、ALTとの交流に対する児童の苦手意識をなくし、児童が積極的に関わりに行ける環境を作ることが大切である。したがって私たちは、福井県の小学校英語教育において、ALTを活用するための一案として、「ALTスタンプラリー」を提案する。